

宇都宮市立横川中学校第3学年生徒質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

●「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか」の問いに、本校は肯定的回答が68.3%に対して、県では74.5%、全国では70.5%になっており、本校がやや下回っている結果になった。このことから、普段の授業や学校行事、部活動など生徒にとって挑戦できる機会を増やしたい。挑戦する姿勢の大切さを説くとともに、スモールステップで壁を乗り越えさせる経験をさせることにより、成功体験をさせ、場合によっては失敗体験から学んで改善していく感覚をこれからの指導で養わせたい。

●『友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか』の問いに、本校は肯定的回答が86.4%に対して、県では95.0%、全国では93.0%になっており、本校がやや下回っている結果になった。思いやりの気持ちを持って、他と協力することが苦手である。「集団の力」が向上するように個々に働きかけるとともに、達成感を得られるような活動をさせていきたい。

○「将来の夢や目標を持っていますか」の本校は肯定的回答が78.2%に対して、県では75.6%、全国では71.1%になっており、本校がやや上回る結果になった。1学年での「職業人に学ぶ」、2学年での「宮っこチャレンジ」、3学年の「高校調べ」など、キャリア教育が学年を重ねるごとに生徒たちに少しずつ浸透していることがうかがえる。その行事のときだけではなく、それに前後する総合的な学習の時間などを計画し、有効に使うことが効果的であると考えられる。事前学習が、体験での学びを広げ、事後学習での振り返りが学びを深めることになるので、丁寧に今後も指導をしていきたい。

○「1, 2年のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」の問いには、50.9%が「そう思う」と答えているのに比べ、「生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか」の問いでは42.9%と割合が低くなっている。他の意見を聞き、自分の考えを深める言語活動を充実させたい。

○「1, 2年生のときに受けた授業の中で目標が示されていたと思いますか」の肯定的割合が97.5%で、県や全国を上回っている。各時の目標を明示し、それを意識した授業を継続したい。

●「数学の勉強は大切だと思いますか」の問いや「数学ができるようになりたいと思いますか」の問いに対する肯定的意見は県や全国を5ポイント以上上回っているのに対し、「数学の学習内容はよくわかりますか」の問いに、「そう思う」と答えた割合が30.4%で県や全国を下回っている。「分かる授業」の実施とともに、習熟度別学習の実践を継続していきたい。